

日本農芸化学会2021年度大会 スポンサードシンポジウム

講演番号 3DL | Saturday, March 20, 12:00 - 12:50

#WeMakeDNA - 合成生物学によるタンパク質の構造と
機能解析へのアプローチ

共催企業: Twist Bioscience

司会: 野口 匡則

講演者:

- ・ 永田 宏次 (東京大学 大学院農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 食品生物構造学研究室 教授)
- ・ 河合 岳志 (Twist Bioscience ビジネスデベロップマネージャー)

合成遺伝子を利用したタンパク質の構造・機能解析

私の研究室では、食品の正の機能(抗菌・抗ウイルス・抗がん・抗酸化・抗糖化)と負の機能(発がん・アレルギー性)を対象として、食品分子とヒト分子との分子間相互作用に着目し、食品中の機能性成分が作用するしくみを明らかにしていく研究を進めている。このような研究において、組換えタンパク質を活用し、標的タンパク質の機能と構造を明らかにしていくことが重要なステップとなる。本講演では、組換えタンパク質の発現において便利なツールである人工遺伝子を活用した例、および、今後活用したいと考えている例を紹介する。

企業講演タイトル

未来を創る:あなたの最高の研究アイデアを可能にするDNAツール

セミナー参加事前登録で当たる!

一等: Up to 10 kb of FREE Twist Gene Fragments* (1名様)

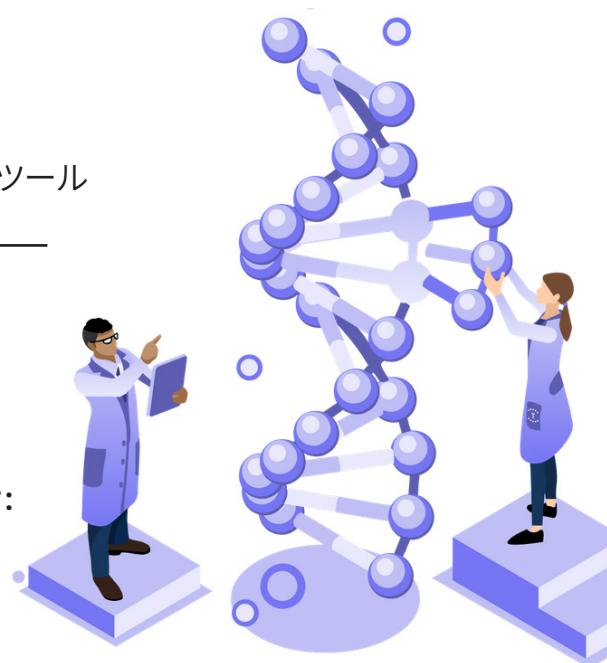
二等: Twist Bioscienceのラマのぬいぐるみ (10名様)

三等: Twist Bioscienceのノベルティセット (20名様)

当社ウェブサイトにある以下のフォームからご登録をお願いいたします:

<https://pages.twistbioscience.com/JSBBA2021.html>

是非ご登録ください。



【お問い合わせ先】

E-mail: jsalescustomer@twistbioscience.com

T W I S T
B I O S C I E N C E